

2020年度入学試験問題
外国人留学生（I期）

日本語の基礎試験
(60分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は7ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。記入のない解答用紙は採点されません。
4. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

【問題 I】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

イギリス、アメリカ、フランスを中心とした国の家族形態は「核家族」です。お父さん、お母さん、子どもの組み合わせが家族の最小にして最大の単位を形づくっています。子どもは大きくなって独立した生計を営むようになると親元を①離れ、結婚して新しい家庭をつくる。成人した未婚の子どもでもあまり親と一緒に住むことはない。子どもが独立した時点で、親子はそれぞれの人格を②認め合って互いに干渉しなくなる。そんな家族形態が、核家族というものです。

a. それに対し、日本、韓国、ドイツ、スウェーデンといった国の家族形態は「直系家族」といいます。これは、子どもが成長して生計を立てられるようになって、親はそのうちの一人の子どもと同居するという家族形態です。結婚して子どもができて、おじいさん、おばあさんと同じ屋根の下に住む。他の子供は結婚すると家から出ていきます。こういうタイプの「親・子・孫」の縦型の家族が「直系家族」と呼ばれる形態です。

b. 日本には「二世帯住宅」というものがありますね。これは、もともと直系家族だったものが核家族に変化したけれど、完全な核家族にはなれないということで、便宜的に③ハツメイされた住居形態です。c. したがって、フランスやイギリスには、そもそも二世帯住宅という言葉がないし、そういう住居もない。そんな考え方はないからです。子どもが独立したら、同じ町に住むことはあっても、隣には住まないし、ましてや同じ屋根の下には住まないのです。

その代わり、独立したらもう、お父さん、お母さんに〔(1)〕ことはありません。④ケイザイ的に親がすごい金持ちでも子どもは貧乏なんてこともあるし、その反対もあります。いずれにしろ、独立以後は、完全な自由を〔(2)〕代わりに、すべて自分で決めたこと責任は自分一人で引き受けなければいけない、一面では⑤厳しい社会です。

ところで、戦後、日本は、そういうタイプの核家族的な社会へ移行すべきだと考えたのですが、あくまで⑥意識のレベルにとどまって、無意識のレベルには〔(3)〕いません。無意識ではあいかわらず直系家族のままなのです。

(中略)

日本は直系家族類型です。あるいは少し前までは直系家族でした。そのため、この直系家族の考え方、メンタリティーが強く⑦ノコっていて、私たちの無意識を規定しています。

どんなふうに規定しているかという、一つは、d. 「自分の頭で考える」ということをしなさいということなのです。

直系家族の⑧特徴は、自分の頭で考えなくとも、誰か他の人が考えてくれるという点にありました。お父さん、あるいはお母さんの〔(4)〕通りしていれば、それで良かったのです。「この学校があなたに一番向いているから行きなさい」「この会社がいいから入りなさい」「この人と結婚するのが一番いいから結婚しなさい」と、そんなふうに、お父さん、お母さんが人生の大事なことまで全部決めてくれたのです。そういう社会が日本にもかつてはあったし、あるいは、今もあい変わらずあるかもしれません。

これに対して、核家族類型の国というのは、親と子どもの⑨カンケイが権威主義的ではなく、切れ

ていますから、親が子どもにいちいちあしろうしろと命ずることはありません。そのため、子どもは自分をマモるために自分の頭で考えることを e.学ばざるを得ないのです。

(鹿島茂『続・中学生からの大学講義1 学ぶということ』より)

問1 下線部①②⑤⑥⑧の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。おくりがなも書きなさい。

問2 下線部③④⑦⑨⑩のカタカナを、漢字で書きなさい。おくりがなも書きなさい。

問3 空欄(1)～(4)に入る言葉は何か。適切なものをア～エの中から選びなさい。

ア. 得る イ. 達して ウ. 言う エ. 頼る

問4 下線部 a.それ とは何か。本文の中の言葉を5字以内で抜き出して書きなさい。

問5 下線部 b.日本には「二世帯住宅」というものがありますね とあるが、なぜ日本には二世帯住宅があるのか。本文の言葉を使って、40字以内で書きなさい。

(ただし、「、」「。」も1字とする)

問6 下線部 c.したがって と、意味が近い言葉をア～エの中から選びなさい。

ア. たとえば イ. なぜなら ウ. しかも エ. だから

問7 下線部 d.「自分の頭で考える」ということをしない とあるが、なぜしないのか。

本文の言葉を使って、30字以内で書きなさい。(ただし、「、」「。」も1字とする)

問8 下線部 e.学ばざるを得ない とあるが、これと置き換えられないものをア～エの中から選びなさい。

ア. 学ぶことができない イ. 学ぶしかない
ウ. 学ばなければならない エ. 学ばないわけにはいかない

【問題Ⅱ】次の文章を読んで、後の質問に答えなさい。

むかし、鳥取のある町に、新しく小さな一軒の宿屋が出来ました。この宿屋の主人は、貧乏だったので、いろいろの道具類は、みんな古道具屋から買い入れたのですが、きれい好きな主人は、何でもきちんと片づけ、〔1〕と磨いて、小ぎれいにさっぱりとして〔2〕。

この宿屋を開いた最初のお客は、一人の行商人でした。主人は、このお客を、それはそれは a.親切にもてなしました。主人は何よりも大事な店の評判をよくしたかったからです。

お客はあたたかいお酒をいただき、おいしい御馳走を腹いっぱい食べました。そうして大満足で、柔らかい〔3〕とした布団の中へはいつて疲れた手足をのばしました。

お酒を飲み、御馳走をたくさん食べたあとでは、だれでもすぐに〔4〕と寝込むものです。ことに外は寒く、寝床の中だけぽかぽかとあたたかい時はなおさらのことです。ところがこのお客ははじめほんのちょっとした間眠ったと思うと、すぐに人の話し声で目をさまされてしまいました。話し声は子供の声でした。よく聞いてみると、それは二人の子供で、同じことをお互いにきき合っているのです。

「お前、寒いだらう。」

「いいえ、兄さんが寒いでしょう。」

はじめお客は、どこかの子供たちが暗闇に戸惑いして、この部屋へまぎれ込んだのかも知れないと思いました。それで、

「そこで話をしているのはだれですか？」となるべくやさしい声できいてみました。すると、ちょっとした間しんとしました。が、また少したつと、前と同じ子供の声が耳の近くでするのでした。一つの声が、

「お前、寒いだらう。」といたわるように言うと、

もう一つの声が細い弱々しい声で、

「いいえ、兄さんが寒いでしょう。」というのです。

お客は布団をはねのけ、行灯あんどんに灯をともして、部屋の中をぐるりと見回しました。しかしだれもいません。障子も元のまま〔5〕としまっています。もしやと思って、押し入れの戸を開けて見ましたが、そこにも何も変わったことはありませんでした。で、お客は少し不気味に思いながら、行灯の灯をともしたままで、また床の中にもぐり込みました。と、しばらくするとまたさっきと同じ声でするので、それもすぐ枕元で、

「お前、寒いだらう。」

「いいえ、兄さんが寒いでしょう。」

お客は急に体中がぞくぞくとして来ました。もうじつとして b.寝ていられないような気持ちになりました。でも、しばらくじつと我慢していると、また同じ子供の声でするので、

お客は (6) ふるえながら、なおも、聞き耳を立てていますと、また同じ声がします。しかも、その声は、自分のかけている布団の中から出て来るではありませんか。——掛け布団が物を言っているのです。

お客は、いきなり飛び起きると、あわてて着物を引っ掛け、荷物をかき集めてはしご段を駆け下りました。そして、寝ている主人を揺り起こして、これこれこうだと、今あったことを息もつかずに話しました。

しかしあんまり不思議な話なので、主人はそれをどうしても信じる事が出来ませんでした。商人はあくまでほんとうだと言い張ります。商人と主人とは、互いに押し問答をしていましたが、c.とうとうしまいに主人は腹を立てて、

「馬鹿なことをおっしゃるな。初めての大切なお客さまを、(7) 困らせるようなことをいたすわけがありません。あなたはお酒に酔っておやすみになったので、おおかた、そういう夢でもごらんになったのでしょ。」

と、大きな声で言い返しました。けれどもお客は、いつまでもそんなことを言い合っではいられないほど、おじ気がついていたので、お金を払うと、とっとと、その宿を出て行ってしまいました。

(下村千秋『神様の布団』より)

あんどん
行灯: 木や竹の枠に紙を貼り、中に油皿を入れて火をともし照明具。

問1 (1) ～ (7) に入る最も良いものを、ア～エの中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|---------------|----------|-----------|----------|
| (1) ア. だろだろ | イ. ぼろぼろ | ウ. ぴかぴか | エ. ずるずる |
| (2) ア. ませんでした | イ. おきました | ウ. いいのですが | エ. は困ります |
| (3) ア. あっさり | イ. もっとも | ウ. ひよっこり | エ. ふっくら |
| (4) ア. ぐっすり | イ. こってり | ウ. びっしり | エ. てっきり |
| (5) ア. ぴったり | イ. わざわざ | ウ. べっとり | エ. さっぱり |
| (6) ア. ぴりぴり | イ. ちかちか | ウ. がたがた | エ. じりじり |
| (7) ア. ずんずん | イ. わざわざ | ウ. ぐいぐい | エ. たじたじ |

問2 下線部 a.親切にもてなしました とあるが、どうしてか。本文の言葉を使って、22字で答えなさい。

問3 下線部 b.寝ていられないような気持ちになりました とあるがどうしてか。

適切なものをア～エの中から選びなさい。

- ア. ご馳走をたくさん食べたから イ. 子供と遊びたいから
ウ. 子供がかわいそうだから エ. 子供の声が怖いから

問4 下線部 c.どうとうしまいに主人は腹を立て とあるがどうしてか。

適切なものをア～エの中から選びなさい。

- ア. お客が寝ないから イ. お客の話が信じられないから
ウ. お客がお腹を空かせているから エ. お客がいたずらをしたから

問5 次の中で、上の文章の内容と合っているものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- (1)この宿屋に初めて来た客は行商人である。
(2)客が寝ている部屋へ子供たちがまぎれ込んだ。
(3)最初にしゃべった子供は弟である。
(4)子供の声は布団から出ている。
(5)客は怖くなくなってすぐその宿屋を出ていった。

【問題Ⅲ】次の文の()に入る最も良いものを、ア～エの中から1つ選びなさい。

問1 さいきん、勉強がだんだんむずかしく()。

- ア. なってきました イ. なっていきます
ウ. なっていきました エ. なってきます

問2 子どものとき、母にきれいな牛乳を毎日()、とてもいやだった。

- ア. 飲まれて イ. 飲ませて ウ. 飲まされて エ. 飲んでもらって

問3 祖母は会う()同じ話をする。

- ア. 一方で イ. たびに ウ. ところで エ. うちに

問4 スマートホン()、どこに行っても困ることはない。

- ア. だけあれば イ. があればあるほど ウ. がなければ エ. さえあれば

問5 家を()、急におなかが痛くなった。

- ア. 出ようとしたら イ. 出るようにしたら
ウ. 出るとたん エ. 出ているうちに

問6 終業時間は5時です。まだ4時だから、父は会社にいる()です。
電話してみましょう。

- ア. つもり イ. ばかり ウ. はず エ. べき

問7 他の人のまねをしないで、自分()生きたい。

- ア. みたく イ. のつもりで ウ. のように エ. らしく

問8 ()大きい地震がきたときは、どこへ避難したらいいのでしょうか。

- ア. 万ー イ. ぜひ ウ. どうも エ. 今にも

問9 あの人は、いつもあいさつも()帰ってしまうので、みんな困っている。

- ア. しないに イ. しなくて ウ. しずに エ. せずに

問10 同じ国でも、地方()言語や文化が全然違うこともある。

- ア. を通じて イ. に対して ウ. によって エ. に基づいて

【問題IV】次の文の ★ 入る最も良いものを、ア～エの中から1つ選びなさい。

問1 こんなに _____ ★ _____。

- ア. 図書館で イ. 暑い日は ウ. に限る エ. 勉強する

問2 ここ数日 _____ ★ _____ ました。

- ア. 疲れ イ. ずっと寝ずに ウ. さすがに エ. 仕事したら

問3 この絵は _____ ★ _____。

- ア. である イ. 写真 ウ. まるで エ. かのようだ

問4 子育ては _____ ★ _____ やるべきだ。

- ア. だけでなく イ. 社会も ウ. 協力して エ. 親

問5 実験が _____ ★ _____ わからない。

ア. みなければ イ. 成功する ウ. やって エ. かどうかは

問6 ご飯を食べ _____ ★ _____ 食べるのをやめた。

ア. かかってきた イ. かけたが ウ. 電話が エ. ので

問7 まだどの大学に _____ ★ _____ 少し考えさせてほしい。

ア. 決め イ. いるので ウ. 入るか エ. かねて

問8 彼は _____ ★ _____ 注文したのでびっくりした。

ア. 細い イ. たくさんの ウ. 料理を エ. わりに

問9 先生が _____ ★ _____ だめだった。

ア. とおりに イ. やって見たが ウ. おっしやった エ. 結局

問10 ガラスは _____ ★ _____ しましょう。

ア. ので イ. やすい ウ. 注意 エ. 割れ